

# 学術資料整備委員会報告

平成30年6月15日

第65回国立大学図書館協会総会  
研究集会 委員会報告

# ビジョンと設置目的

## ◆ビジョン 重点領域① 知の共有

### 目標2: 出版された資料の整備と利用

国立大学図書館は、紙の図書や雑誌等の蔵書、契約によってアクセス可能となる電子ジャーナルや電子ブック等の電子的リソース等を適切に整備するようにつとめ、利用環境をととのえるとともに、長期的な利用を可能とする。

## ◆設置目的（「委員会設置要項」）

学術資料整備委員会は、大学図書館が蔵書や電子リソース等を適切に整備し、利用環境をととのえ、長期的な利用を保証する体制を構築するための調査・企画・立案を行う。

# 活動体制：3つの課題とWG

学術資料＝蔵書、電子リソース等を  
整備＝長期的に利用できるようにする  
委員会



電子ジャーナルWG

デジタルアーカイブWG

シェアードプリントWG

# 電子ジャーナルWG（広島大）

## 2016・2017年度の取り組み

### ◆シンポジウムの開催

平成29年12月21日に「電子ジャーナル購読をめぐる課題ーサステイナブルな学術情報流通のためにー」をテーマとして、国立大学図書館協会シンポジウムを開催

### ◆モデル化報告書の作成

電子ジャーナルの契約変更事例収集調査を実施し、調査結果をもとにモデル化を試み、報告書を作成

## 2018・2019年度の活動予定

### ◆新たな契約のあり方の探求

電子ジャーナルの新たな契約のあり方を、オープンアクセス委員会やJUSTICE等と連携しながら、引き続き探求

### ◆財源確保と広報の検討

効果的な財源確保の方策や広報活動について検討・実施

# デジタルアーカイブWG（神戸大）

## 2016・2017年度の取り組み

◆デジタルアーカイブの動向調査  
WGメンバーが所属する8機関に対して、データの整備状況、運用形態、オープン化の状況、権利処理、長期アクセスの保証、外部機関との連携などをテーマに調査を実施

## 2018・2019年度の活動予定

◆シンポジウムの開催  
平成30年10月19日（金）に「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」をテーマとして、国立大学図書館協会シンポジウムを開催

◆報告書の作成  
国内外の動向、アンケート結果の報告、デジタルアーカイブの利活用の課題や取組事例を整理して報告書を作成

# シェアードプリントWG（名古屋大）

## 2016・2017年度の取り組み

◆共同分担保存試行計画(案)の策定  
東海北陸地区大学間学術資源活用事業のシェアードプリントWGと連携して、「共同分担保存試行計画(案)」を策定

◆地区共同保存書庫の課題  
地区共同保存書庫の設置を想定した運営に係る課題検討を実施

## 2018・2019年度の活動予定

◆長期的な利用環境の整備  
シェアードプリントについて、共同保存書庫の設置、ILL業務の効率化等によるモデル地区内での資料共有の可能性を検討

# 学術資料の整備のために

蔵書

電子リソース

電子ジャーナルWG

デジタルアーカイブWG

シェアードプリントWG

長期的な利用